

子どもに関わる前に、子どもをよく観る

SSW(スクールソーシャルワーカー) 奥山

私は週1回常盤北小学校を訪問し、子どもたちの学習や生活の様子を観たり対応をした上で、保護者さんとの面接や教員との相談を行っています。

子どもが言う事を聞かない、指示に従わないなど、家庭や学校で関わりや対応に困ることが多いです。その時に大切なことは、子どもの「今、その状態が」どうなっているのかを把握することです。

子どもの何を観るのかについて、自分が頭に入れてやっている事をお話したいと思います。子どもの脳の状況についての観察と把握です。

1, 視覚・聴覚の働き

① 視覚（後頭葉）の状況

どこを見ているか 観ているのか (ぼんやり はっきり ちゃんと)

② 聴覚（側頭葉）の状況

聞こえているか 聞こうとしているか 聴いているか

③ 出力（前頭葉）の状況

感情と行動の表出状況

④ 入力と出力のバランス

2, 心の状況

気持ちの置かれている状況 緊張 汗 体温

3, 言語発達の状況

生来的な状況 発達状況

子どもの今の状態を把握した上で、子どもへの無理な介入や対応を避けて行くことが必要だと思います。

